

38億年の生命の挑戦！

アストリーム

～恐竜の進化とヒトの未来～

企画・監修：日本科学未来館
監修：佐倉紘（東京大学大学院情報学環）

支援協力：日本大型映像協会

製作・著作：日本科学未来館／株式会社アドバンス・IMAGICA FORCE / 株式会社D&Dピクチャーズ

©日本科学未来館/ネットアドバンス/IMAGICA FORCE/D&Dピクチャーズ

38億年の生命の挑戦! EARTH STORY

恐竜は、なぜ巨大化できたのでしょうか?
ヒトは、どうしてこれほどに
繁栄したのでしょうか?

…いのちが織り成す地球の進化の物語は、一本の巨大な樹木のように、無数の枝葉を広げてつないできました…。

38億年前、地球に生命が誕生しました。最初の生命は深海で誕生したと考えられています。一つの細胞から始まった生命は、分裂を繰り返し、遺伝情報を変化させて多様に進化してきました。DNAの変化が、膨大な多様性を試し、環境によって、あるいは偶然によって選ばれながら現在まできました。しかし、生きものたちは決して受身なだけではなく、地球の環境を劇的に変化させ他の生物の進化を促してきた事実もあります。

3D立体映像でたどる生命進化の旅は恐竜の時代までたどり着きます。そして、並外れて巨大化した恐竜たちの繁栄の秘密に直面した時、6500万年に忽然と姿を消したと思われていた彼らが、実はまったく新しい環境に進出して生き残ることに成功した事実を驚きをもって知ることになります。

一方、ヒトは生命史上まったく異なる力を獲得しました。脳の働きを、言葉や文字の形で体の外に出して保存したり動かしたりできるようになったことです。それにより、科学を生み、今度は、生命の進化や謎、地球の未来にまで挑むまでになりました。

地球史上かつてないほどの存在となった私たちが、これから の未来に向けて、手に入れた脳と発達させた科学や技術の力をどのように使っていくのでしょうか…映画はまったく新しいアプローチでこのテーマにのぞみます。

